

神戸大学と

Across the Boundaries 神戸大学のメタモルフォーゼを伝えるメディア

No.13

わたし

「大学と社会の結び目」
落語家 桂吉弥さん × **桂そうばさん**
特別対談
「ききん・だより」 寄附状況・事業展開報告、ほか



神大落研が生んだ落語家に聞く ～何かを感じてもらえる落語、 もう1回聞きたい落語を～

【神戸大学基金を大きく育てよう】

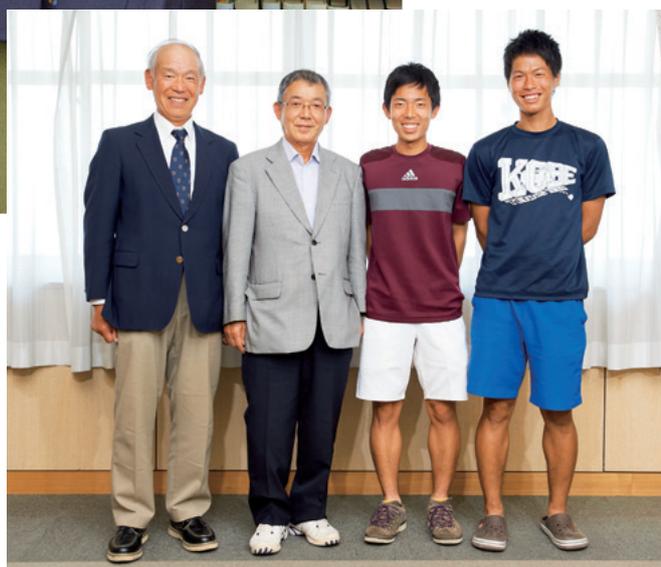
●クラブ活動<いま・むかし>

創部110周年を迎えた「神戸大学庭球部」

神戸大学庭球倶楽部 (KUTC) 会長 澤田欣輝さんほかOB・現役のみなさん

●神戸大学基金の活用事例紹介

神戸大学女子タッチフットボール部ROOKSの活動支援



神大落研が生んだ落語家に聞く 何かを感じてもらえる落語、もう1回聞きたい落語を

上方落語界で活躍中の桂吉弥さん、桂そうばさんは、ともに神戸大学の落語研究会で落語の魅力に目覚め、落語家の道を志しました。お二人に学生時代から今に至るまでをお話していただきました。



●神戸大学寄席にて

プロフィール
桂 吉弥 (かつら・きちや)

1971(昭和46)年大阪府生まれ。1995(平成7)年神戸大学教育学部(現・発達科学部)卒業。在学中の1994(平成6)年11月に故・桂吉朝氏に入門。NHK連続テレビ小説「ちりとてちん」に徒然亭早原役で出演。テレビ・ラジオ番組のレギュラーを務めるなど、落語以外にも活躍の場を広げている。2008(平成20)年、文化庁芸術祭新人賞受賞。



プロフィール
桂そうば (かつら・そうば)

1978(昭和53)年福岡県生まれ。2003(平成15)年神戸大学経営学部卒業。サラリーマンを経て2005(平成17)年10月に桂さこば氏に入門。福岡県出身の数が少ない上方落語家として活躍する。趣味は株取引、サッカー観戦。



●神大落研で人生で初めての落語を体験

―神戸大学に入学するまでのことを教えてください。

●吉弥 お笑い好きの典型的な大阪の男の子でした。遠足のバスの中で司会をやったり、友達と漫才やったりと人を笑わせるのが好きでした。父が神大出身の教師、母も教師だったから、僕も教師にと教育系の大学を受験したんですが受からず、一浪して神大の教育学部に入りました。

●そうば 僕は福岡市で生まれ育って、高校で長崎の全寮制の学校に入ったんです。そこは医者を目指すような子が集まる学校で、僕は途中で周りのみんな頭がいいことに気付くんです。僕はムリややめとこと。でも他の理系の学部には興味がない。若気の至りで社長になりたいたいと思ひ、一浪して神大の経営に入ったんです。

―お二人とも大学時代に落語に出会いました。

●吉弥 落語研究会の新歓寄席というものがあって。昼飯をタダで食べさせてくれるんやくらい軽い気持ちで見に行っただけです。それが衝撃的だったんですよ。こんなに面白い世界があるんやって。そこから新歓寄席に毎日通ったんです。

●そうば 僕も落研の新歓寄席に行くまで、落語という言葉すら知らなかったかもしれません。そのとき見たのは『青菜』という演目。笑いと

いうより「ようできてるストーリーや、どんな頭のいい人が作ったんやろ」と感心しました。

●吉弥 そうば君は学があるんですよ。

●そうば いえいえ。僕にとっては大学イコール落研で、部室にはよく行っただけ学びのほうはあんまり。ようこんなんで卒業できたというくらい。

●吉弥 二人とも一浪一留なんです。部室にいるのが楽しくてね。7年生なんていうすごい先輩もいた。女子部員もいて、2歳上の先輩が今の嫁はんです。

●そうば 建前は部内恋愛禁止でしたけど、みんなしてましたね。

●吉弥 先輩の落語も面白いんですけど、部室に置いてある米朝師匠、枝雀師匠の落語のテープを聞くと、それがまためっちゃ面白いです。

―神大落研の伝統みたいなものはあるんですか？

●そうば ひとつの癖をじっくり覚えるのが神大流で、3年間で覚えるのは4本くらいかな。大阪大学なら40本とか。練習し過ぎて自分で面白く思わないようになりますから。もう苦行のよう。

●吉弥 間(ま)とか言い方とか声の調子に、神大落研ならではの方程式があるんです。いろんな場所に行っただけ寄席を行う「出演」というものがあるんですけど、それをするには各先輩にマントーマンで見てもらって、最終的に全員の前で

発表して会長の大鼓判をもらわないといけない。●そうば 間違いなく今より稽古してました。今は落研もだんだん緩くなってるみたいですけどね。

●「これしかない」と落語の世界に飛び込む

―落語を職業にしようと思ったきっかけを教えてください。

●吉弥 僕はもともと教師志望だったんで教育実習にも行っただけですけど、現場を見て「思ってるのとちゃうな」と。

ちょうどその頃、桂吉朝という後の師匠の落語会を見に行っただけで、追っかけをするようになったんです。最後は恋愛みたいに「この人のおそばにいたい」と、弟子入り志願の手紙を書きました。当時つきあっていた嫁はんとかバイト先の人に書いた手紙を見せて「これで俺の気持ち伝わるか？」と聞いたりして、人生で初めて自分の気持ちを真剣にペンを乗せて送ったんです。その後、寄席の楽屋口で師匠を待ち受けて話をさせてもらい、半年通って入門を許されました。

●そうば 僕は大学を出て製薬会社で2年半営業の仕事をしてたんです。悲しいニュースをきっかけにするのはよくないんですけど、JRの脱線事故が当時あったでしょう。僕は営業先の病院の受付で事故のニュースをオンタイ

ムで見てたんです。そこで「人間ていつ死ぬかわからんな。死ぬ瞬間に好きなことやっていたら後悔しないと思うけど、心残りがあつたらいややな」と。自分もやりたいことやろうと思いつつたときに、それまでの人生で一生懸命やったことが落語しかなかったんです。これしかない、と、ざこば師匠の門を叩きました。

―弟子時代の生活や稽古について教えてください。

●吉弥 僕はちよつと特殊です。米朝師匠のところに住み込んで身の回りのお世話をしながら、落語の稽古は吉朝師匠のところに通つて、という預かり弟子のかたちで3年間過ごしました。稽古は師匠と向かい合つての三遍稽古ですね。20分くらいの唄を3カ月くらいかけて少しずつ覚えるんです。僕は最初師匠に「ネタ何個持つてんねん？」と聞かれて、「『つる』『子ほめ』『道具屋』…」と褒められるつもりで指を折つたら、「全部忘れる。俺の言う通りやれ」つて。まささらな状態から師匠の完全コピーを目指せです。

●そうば ざこば師匠の稽古も同じです。あとね、ざこば師匠は自分のことは自分でやりたい人なんです。ガソリンスタンドの給油も自分でやりはるもんですから、弟子は助手席でどうしていいのかわからなくて居心地が悪い。

●吉弥 ざこば師匠は優しい人なんですよ。

●そうば なかなか信じてもらえないんですけど本当に優しいんです。ただ、筋を通してなかったり、段取りが悪かつたりすると怒られる。このふたつに気を付けておけばそんなに怒られないのが発見でした。あとはホンマに機嫌悪いときは近寄らないこと。

●吉弥 ネタを覚えるのも大事だけど、僕が内弟子時代に何を稽古したかというのと、やつぱり相手の気を見るということかな。「米朝師匠は今どういうことをしたいと思つているのか」と見計らうことが、落語家として人を喜ばせるこ



とに繋がつていふと思ひます。

―今でも神戸大学や落研との交流はありますか？

●そうば 今年の3月まで加古川でケーブルレビのレギュラーあつたんで、途中下車して落研をよく訪ねてたんですが、レギュラーが終つたんできつかけが減つちやいましたね。でも年に1回、吉弥兄さんと神大で落語会をさせてもらつてます。

●吉弥 阪急六甲駅近くの「ビザハウスF」とかお世話になつたお店もあるしね。僕ずつとあそこでバイトしてたんですよ。

●そうば 僕もよく行きました。落研の飲み会はあの店なしでは考えられない。

●吉弥 神大と神戸のまちの、あの雰囲気の中で、いろんな人に会つて、そして落語という道を選んだということが僕の財産です。後悔があるとすれば、授業と関係なくもつというんな先生の部屋に押しかければよかつたなと。コオロギを山ほど飼つていふ人とか、面白い先生がいつばいいてたんですよ。

●そうば 僕ら落研のメーリングリストみたいなものに入つて、OBでなんかやるかと盛り上がつてゐるんですよ。

―ほかに神大出身の落語家さんはいらっしゃいますか？

●吉弥 同じ教育学部出身の露の団六さん、NHK記者という経歴を持つ林家竹丸さんがいま

す。あとは枝雀師匠も神大の夜間に通つていたんですよ。一年通つて「大学がどんなところか大体分かつたんで」とあつさりやめたそうですが。

●そうば 東京の三遊亭好楽師匠に入門した好吉さんも神大出身で、落研ではなく社会人落語会で活動してゐたそうですよ。

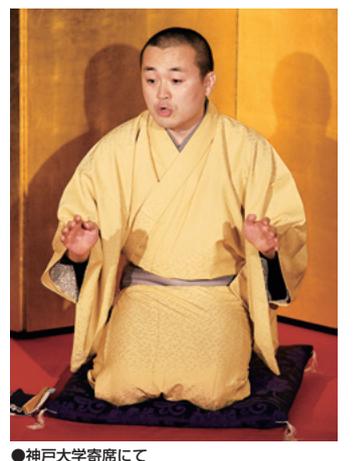
●それぞれが目指す落語とは

―吉弥さんは落語以外にも活躍の場を広げていますが、落語とドラマで「演じる」という感覚に違いはありますか？

●吉弥 落語は話云として自分ひとりで完結するものなので、何人も人間を演じつつも、どこかで一歩引いた冷めた部分が必要なんです。そういう部分は持ちながらも、ドラマや舞台をいろいろやらせてもらうことで、ひとつの役柄を究めるといふ姿勢を学びました。いい舞台役者さんは、セリフが少なくても歩き方や表情でその役柄になり切り、観客の心に「あの人が良かつたね」と強い印象を残すんです。

―高座に上がるときに心構えについて教えてください。また得意なネタは何ですか？

●そうば 寄席が終わつてお客さんと話すと、愛想でも何でも「面白かつた」つて言つてくれるんです。でもラーメン屋と同じで、もう一回行きたいかというのと、どうでしょう。僕は、もう一回聞きたいと思つてもらえる落語を目指そうというのが心構えとしてあります。



●神戸大学寄席にて

●吉弥 落語はええなあとかすてきやなあと思つてほしい。ひよつとしたら今日僕の落語見て、その後もう一生見ない人もいるかもしれない。そんな人にも何か感じてほしいという気持ちでやつています。

●そうば 得意なネタはちよいちよい聞かれるけれど、答えるのに一番困りますね。

●吉弥 「愛石山」とか好きなネタはありますがけど、得意かどうかは基本的にお客さんが判断してくれるもんですから。落語会によく来られる友達に、「今までの俺の唄でどれが良かつた？」と聞くと、自分がこれやろと思つると違ふことが多い。

●そうば 好きなネタといえば、ざこば師匠がやる「強情」という演目は最高に面白いんですよ。3人の登場人物がいて全員強情だつたという、ストーリーが全くない唄なんですけど、自分が死ぬまでには、ざこば師匠のような「強情」をやれるようになりたいですね。

―落語を聞くほつた楽しみ方のコツは何がありますか？

●そうば 初めて落語を見に来た友達がいて、ネットでネタを調べてストーリーを頭に入れてきたんですよ。そんなやつたらおもしろくないやん。歌舞伎や文楽ならイヤホンガイドがないと分からないかもしれないけど、落語はそういうのなしで楽しめる。変に身構えないで気軽に来てほしいと思ひます。

OBと現役部員が一丸となつて、クラブの歴史と誇りを継承。

英国で生まれた近代テニスが最初に日本に伝わったのは、外国人居留地があった神戸と横浜だと言われています。そんな神戸にあつて、神戸大学庭球部は創部から110年の歴史を刻んでいます。今から数年前には部員不足で存続の危機に瀕しましたが、困難を乗り越え、部の運営を再び軌道に乗せるために尽力したのが、OB会である神戸大学庭球倶楽部（KUTC）です。KUTC現会長の澤田欣輝さんに、神戸大学庭球部のあゆみについてうかがいました。

●輝かしい戦績と伝統

神戸大学庭球部は、1905（明治38）年に創部された、神戸大学でも有数の歴史あるクラブです。神戸高等商業学校、神戸商業大学、神戸経済大学、そして神戸大学へと続く歴史の中で、鳥羽貞三選手（大正13年卒）、桑原孝夫選手（昭和6年卒）、布井良助選手（昭和9年卒）、伊藤英吉選手（昭和9年卒）、市山哲選手（昭和35年卒）という5名のデビスカップ選手をはじめ、全日本選手権、全日本学生選手権などの大きな大会で勇名を轟かせた名

澤田欣輝さん

神戸大学庭球倶楽部（KUTC）会長

（さわだ・よしあき）1945（昭和20）年生まれ。1968（昭和43）年に神戸大学経営学部を卒業し、日本レイヨン（株）（現・ユニチカ）（株）に就職。ユニチカサイカイ（株）代表取締役社長、ユニチカトレーディング（株）顧問を務めた後、退職。



選手を輩出してきました。特に布井選手と早稲田の佐藤次郎選手のペアは、1933（昭和8）年にウインブルドン（全英テニス選手権大会）に出場し、準優勝を飾っています。錦織圭選手が全米オープン準優勝という歴史的快挙を遂げた現代から遡ること80年、世界の検舞台で活躍する選手を、神戸大庭球部がすでに輩出していたのです。

澤田さん自身は高校時代からテニスを始め、1964（昭和39）年に神戸大学に入学して庭球部の門戸を叩きました。

「毎日テニス漬けの生活でした。先輩が『この授業さえ出席すれば、他は出席しなくても自習すればいいから』とある意味論してくれて、よく言えばおもしろかな時代でした」

神戸大テニスの伝統は「諦めない心」だと澤田さんは指摘します。一本残つていれば挽回できる、相手より一本多く返せば勝機がある。粘りのテニスを実践するため、「コートに立たない時はとにかくよく走ったといえます」。

●全国制覇を成し遂げた黄金時代

澤田さんたちが先輩からこうあることに聞かされたのが、「あの時」の話です。

神戸大庭球部にとって「あの時」と言えば、関東の覇者・慶応大学を5-4で破り、国立大学として唯一全国大学王座を獲得した1952（昭和27）年7月24日のことです。この年の後

半、駐留軍に接収されていたコート4面がようやく返還されやっと目前のコートで練習ができるようになったといえますから、当時の部員の苦労と猛練習ぶりは想像に難くありません。全国制覇の金字塔の勝因は、「人の和」でした。

全国制覇を成し遂げた前後から昭和30年代にかけては、戦後の黄金時代ともいうべき時期で、神戸大庭球部は関西1部リーグの常連校として名を馳せます。しかしスポーツ推薦入学で有望な選手を獲得する私学に比べ選手層の厚さを維持することは難しく、1965（昭和40）年には2部に転落します。澤田さんの現役時代の1967（昭和42）年にいったん1部に返り咲きましたが、以降は2部、3部を低迷する時代が続きます。また永年の対抗戦として一橋大（東京高商）、神戸大（神戸高商）、大阪市大（大阪高商）の間で現役も勿論、三商大OB戦が続けられており、昨年で60周年を迎えました。

●100年目の危機を乗り越えて

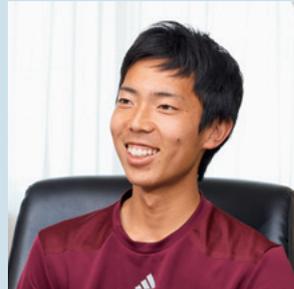
2005（平成17）年、庭球部は創部100周年の節目を迎えました。KUTCでは記念事業として人工芝コート2面を庭球部に寄贈し、記念誌も発行しました。

ところがその後、伝統あるクラブが創部以来の危機に瀕することになります。現役部員が数名にまで激減したことから関西リーグ4部に降格、部の存続を危ぶむ声さえ上がりました。

そこで立ち上がったのがKUTCでした。2010年（平成22）年5月、当時KUTC副会長だった澤田さんをリーダーとして庭球部再建のための「Rプロジェクト」が組織化され、部員確保と実力向上と施設の改善とマネジメ

現役世代から

大目標は3部昇格



男子庭球部主将 若林健吾さん（海事学部4年生）

OBの方々にこれほど熱心に、パワフルに支援していただき、毎日コートに立てることに感謝しています。OB総会等では大先輩の方々からも温かいエールをいただき、そのたびに「もっと頑張れる」と自分たちを叱咤激励しています。

現在、男子部はマネージャーを含めて28名、女子部は15名が所属しています。足を重視するテニススタイルは今も継承され、六甲から三ノ宮まで走ることもあります。男子部は、昨年は惜しくも入れ替え戦出場を逃しましたが、「百折不撓」の精神で、今年こそ関西リーグ3部昇格を実現し、OBの皆さまに恩返しをしたいと思っています。

ント変革に現役世代とともに取り組むことになったのです。

その後、中長期計画が現在に至るまで実施され、男子部・女子部共に4部を死守しています。特に男子部は部員数が倍増し、3部昇格まであと一歩のところまで盛り返しています。澤田さんは2014（平成26）年に神戸大学庭球部総監督・女子監督に就任し、直接指導にも当たっています。

澤田さんは「神戸大庭球部は知的体育会系を目標せ」と現役部員の奮起を促しています。

「今も昔も、体育会系で鍛えられた人材は、強い身体と心、チームワークやリーダーシップに優れ、社会に出ても活躍できるんです」今年庭球部創部110周年に当たる年です。KUTCでは記念事業として全員参加で特別寄付1500万円の基金を集め、年度末には大学の協力も得て、庭球部に部室を新築・寄贈する予定です。

目指すは「さくらボウル」二連覇

神戸大学女子タッチフットボール部ROOKSは、1994年に創部し、以降たびたび日本一に輝いている強豪チームで、今年4月に人工芝敷設工事が完了した鶴甲第一キャンパスグラウンドで練習に励んでいます。神戸大学基金では課外活動支援の一つとして、ROOKSの活動を支援しています。

Q 誰でも安全にアメフトの爽快感を味わえる新スポーツ

A タッチフットボールとはどんなスポーツなのか？

アメリカンフットボールからパワーの要素を取り除いたスポーツです。その名の通り、タックルの代わりにタッチをします。アメフトよりフィールドは狭く、1チーム6人で簡単な服装でできるので、誰でも気軽に楽しくプレーできます。

Q ROOKSについて教えてください。

●質問に答えてくれた人：福長迪女さん
(ふくなが・ゆめ 経済学部3年生) ROOKS主将、ポジションはセンター。



A 1994年創部で、現在は28名の部員がいます。学年を越えて仲間が良くと、チームワークも抜群です。

ROOKSとはミヤマガラスを指す言葉です。ヤタガラスに名前の由来を持つ神戸大学アメリカンフットボール部RAVENSに倣って名付けられたと聞いています。

Q 福長さん自身はなぜタッチフットボール部に入部したのですか？

A 私は中学、高校と部活をしておらず、大学に入ったらスポーツ系のクラブに入ろうと決めていました。経験者が多いスポーツと違って、タッチフットボールならみんな未経験からのスタートなので気負わず始められると思います、入部しました。

●2年ぶりの度目の日本一

Q どんな大会・試合があるのですか？

A 春は全国大会「シユガーボウル」が横浜スタジアムで行われ、秋は社会人王者と大学生王者による全日本王座決定戦「さくらボウル」が東京ドームで行われます。

Q そのさくらボウルで優勝し、ROOKSは今年日本一に輝きました。

A KSは今年日本一に輝きました。社会人王者の関西アウィリースを41-21で破り、2年ぶり5度目の日本



一になりました。神戸大学の卒業生の方やROOKSのOGの皆さんにも東京ドームまで足を運んで応援していただき、とても感謝しています。

●さくらボウル連覇に向け前進

Q グラウンドが人工芝に一新されましたが、感触はいかがですか？

A これまでは、普段の練習は土グラウンドだけですが、試合は人工芝というギャップがありました。今後は試合会場と同様の環境で練習ができるので嬉しいですね。

Q タッチフットボールの醍醐味はなんですか？

A さまざまなポジションがあり、ボールが投げられるのが得意な人、受けるのが得意な人、足が速い人など、プレーヤーの個性に応じて活躍できる場があるという点です。また戦略が勝敗の力ギを握る知的なスポーツでもあり、運動能力や体力を戦術でカバーできる点も魅力です。

Q 試合で「110」を見せろ」という部分を教えてください。

A 見どころのひとつに、攻撃の花形プレーであるロングパスがあります。これが通ると一気にタッチダウンも狙えるので、試合が盛り上がります。

Q 今後の目標を教えてください。

A ROOKSはこれまで5回、さくらボウルで日本一に輝いています。近年、連覇はありません。来年も優勝を決め、連覇を成し遂げたいです。

Q そこに神戸大学基金の支援もぜひ役立ってください。

A もちろんです。大学近くにあるスタジアムの使用料に充てるほか、テープリングなどの消耗品の購入に使わせてもらっています。



●鶴甲第一キャンパスグラウンド (神戸大学エレコムグラウンド)

ききん・だより

「基金の寄附状況」

「神戸大学基金」の
取組みのご報告と
さらなるご支援のお願い

「神戸大学基金」の平成27年3月末現在の寄附状況は下記のとおりです。多くの皆様方からご厚意が寄せられましたことに心より感謝申し上げます。

現在、本学は、国立大学に求められる変革の波を乗り切り、新たな希望に向かって進むために、新たな神戸大学ビジョン「先端研究・文理融合研究で輝く卓越研究大学へ」を掲げ、その実現に日々邁進しております。今後とも皆様の暖かいご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

「基金の事業展開内容」
国際化への対応をはじめ、
多彩な活動を支援

神戸大学基金（基盤事業）の展開内容は、以下のとおりです。

- ① 明確な目標を持った優秀な学生の海外留学・研修への派遣支援として
海外派遣・語学研修・留学・海外インターンシップ・ボランティア・国際学会等派遣事業
- ② 海外に向けた発信への支援として
研究者向け英語個人指導・学部生向け英語プレゼンテーション指導等
- ③ 海外からの優秀な留学生の受入として
ダブルディグリープログラム等に参加する協

定大学から来学してくる海外留学生への支援

④ 神戸大学基金奨学金制度の充実

- ・ 神戸大学基金緊急奨学金（災害や不慮の出来事による修学・生活困窮学生への支援）
- ・ 神戸大学基金奨学金（優秀かつ生活が困難している新一年次生への支援）

⑤ 課外活動（ボランティア活動を含む）支援

- ・ 東北ボランティアバスへの支援
- ・ 顕著な活動実績をあげた課外活動団体・個人への支援

⑥ 東京地区におけるプレゼンス向上活動支援

- ・ 首都圏における同窓生とのネットワークの構築・強化
- ・ 首都圏における情報発信業務・イベント等への支援業務
- ・ 在学生の首都圏における活動支援

⑦ 施設環境整備

- ・ 鶴甲第一キャンパスグラウンドの人工芝への推進
- ・ 登録有形文化財等の施設の充実

ご寄附いただく方法

「個人のみなさま」

神戸大学へのご寄附に對しましては、寄附金額から2千円を除いた額について所得控除を受けることができます。また、平成23年1月1日以降のご寄附より、本学に寄附した翌年1月1日に神戸市にお住まいの方は、神戸市個人市民税の税額控除を受けられます。

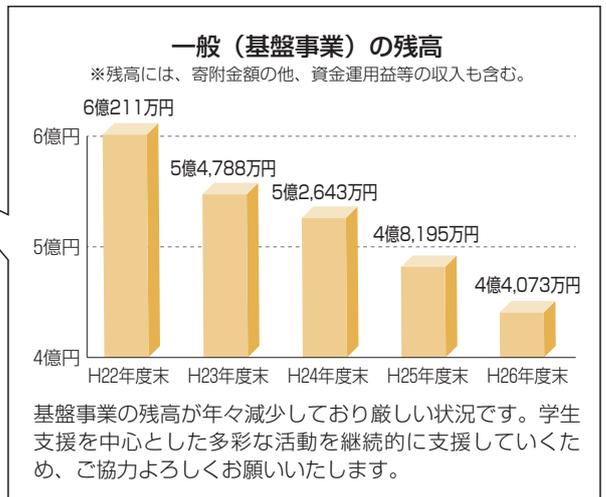
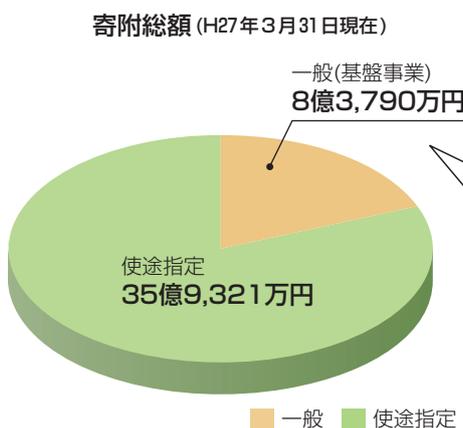
ご寄附の申込方法は、本学指定の払込取扱票でのご寄附のほか、インターネットからご寄附いただくことが可能です。

本学指定の払込取扱票がお手元ない方は、お名前・住所・電話番号を左記の基金推進室までお知らせください。折り返し払込取

神戸大学基金の寄附状況

区分	概要	H25年度実績	H26年度実績	寄附総額 (H27年3月31日現在)
一般 (基盤事業)	国際化対応（海外留学、語学研修、留学生受入など）、奨学金、課外活動支援など、学生支援を中心とした多彩な活動を継続的に支援していく基盤事業へのご寄附	3,783万円	3,153万円	8億3,790万円
使途指定	特定学部における寄附講座の設置、特定課外活動団体のためなど、寄附者のご意志による使途指定事業へのご寄附	5億3,458万円	5億6,929万円	35億9,321万円
合計		5億7,241万円	6億82万円	44億3,111万円

図で見る神戸大学基金の状況



投票一式をお送りします。

インターネットからのご寄附は、神戸大学ホームページからクレジットカード決済、インターネットバンキング、銀行振込のいずれかをお選びいただくことが可能です。詳しくは、下記のホームページでご確認ください。



http://
www.kobe-u.ac.jp/info/kikin/kifu-personal.html

ださい。なお、クレジットカード決済でご利用いただけるカードは、「JCB」「VISA」「MasterCard」「AMEX」「Diners Club」です。

【トピックス TOPICS】

鶴甲第一キャンパスグラウンドの人工芝化

神戸大学基金では運動環境整備事業として、正課授業における修学環境や課外活動における練習・試合環境の改善を図るため、鶴甲第一キャンパスグラウンドの人工芝化に向けて募金活動を実施してきました。

この度、エレコム株式会社から敷設工事等を同社が実施するとして物納によるご寄附があり、平成27年4月に竣工式を開催、耐久性にも優れた高品質の新グラウンド「神戸大

学エレコムグラウンド」が完成しました。

これまでに本事業へ多大なるご支援を賜りました皆様におかれましては誠に有難うございました。いただいたご寄附は今後の更新に備えた資金等として活用させていただきます。また、募金活動は今後も継続していきますので、引き続きご支援のほどよろしくお願いたします。



●鶴甲第1キャンパスにて新グラウンド「神戸大学エレコムグラウンド」の竣工式が開催されました（4月29日）



http://
www.kobe-u.ac.jp/info/kikin/ku-entprise.html

【法人のみさま】

所定の寄附申込書に必要事項をご記入の上、下記基金推進室まで郵送ください。折り返し、振込依頼書をお送りします。寄附申込書は、基金推進室に法人名・住所・電話番号をお知らせいただければ送付します。あるいは左記のサイトから書式をダウンロードすることもできます。

【神戸大学基金ホームページ】

神戸大学基金について、詳しくは左記のホームページをご覧ください。



http://
www.kobe-u.ac.jp/info/kikin/top.html

お知らせ

皆さまの、貴重なお意見、ご感想など、一言メッセージを神戸大学基金推進室にお寄せください。

【神戸大学基金推進室】

E-Mail:
Kikin@office.kobe-u.ac.jp

寄附者からの一言メッセージ

寄附をしていただいた皆さまから、次のようなメッセージが基金推進室に寄せられました。

【私はこんな理由で寄附しました】

●チャレンジ精神を持つ若者の輩出を！
●良き先輩に在学中及び卒業後も何かとお世話になりました。

●海外からの留学生のために奨学金の一助と願っています。

●大学院へ進学させていただきました。これからもよろしくご指導ください。

●毎年少額ですが、神戸大学の一層の発展を祈念して。

●母校の発展をお祈りします。

●研究活動などに、最近の神大の低迷を憂います。

●永遠に神大を応援します。

●低費で勉強させて頂いた御礼として。

●息子をはじめ学生さんのために役に立ちたいです。

●少額ですが、何かのお役に立てば幸いです。

●例え僅かでも在学生諸君のお役に立てば偉。

●グローバル教育戦略の推進を支援したい。

●世界大学ランキング100位内を目指して欲しい。

●国際都市神戸に相応しい、グローバルな大学へ。

●神戸大学が世界の発展に益々寄与されることを心より祈念しています。

発行のこぼ

神戸大学は、明治35年（1902年）の創立以来、開放的で国際性に富む固有の文化の下、「真摯・自由・協同」の精神を理念とし、社会に貢献する人間性豊かな指導的人材の育成と、普遍的価値を有する「知」の創造拠点としての世界的教育・研究機関たることを目指してきました。

●今、20世紀都市文明からの転換が激しく迫られる中で、大学にはその創造力を発揮して新しい21世紀文明構築のさきがけとなることと求められています。「神戸大学ビジョン2015」は、その第一歩として、「世界トップクラスの教育・研究」、「卓越した社会貢献・大学経営」の実現を目指しています。

●「神戸大学基金」は、ビジョンの実現を加速するためのターボ装置です。ターボの力をより強力なものとするためには、神戸大学が社会により深く根を張り、そこからの支持と支援を拡大することが不可欠となっています。

●本誌「神戸大学とわたし—Across the Boundaries」は、神戸大学と社会の接点に取材し、ビジョンを先取りする取り組みを可視化することで、社会貢献の促進とビジョンの早期実現に資することを目的として発行されました。読者の皆様の忌憚のないご意見をお待ちしています。

2010年1月1日

※表紙題字下の「メタモルフオーゼ」は、生物学でいう「変態・変身」の意。本誌は神戸大学が21世紀に飛躍する様を追いかけてます。

神戸大学とわたし
Across the Boundaries
通巻第13号 No.13
2015年6月24日発行

発行人 国立大学法人神戸大学
編集人 企画部社会連携課（基金推進室）
〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1
TEL: 078-803-5414
FAX: 078-803-5024



E-Mail:
kikin@office.kobe-u.ac.jp

思い出の詰まった母校へ！**第10回** 2015年10月31日(土)
 記念式典:出光佐三記念六甲台講堂
神戸大学ホームカミングデイ

【予定しているイベント】

記念式典、第12回留学生ホームカミングデイ、学部企画、ホームカミングデイ市、学生主催のイベントなど

卒業生のみなさま・名誉教授の先生方に、現役学生・教職員との交流を深めていただく機会として、
 今年も「ホームカミングデイ」を開催します。

ゼミ・クラブ・サークル同窓会の同時開催もお待ちしております。みなさまお誘い合わせの上、お越しください。



振り返れば六甲の山並 ~あの頃の友に会いたい



日本の未来は大学の進化にかかっている！
 シリーズ第1弾 **神戸大学**
 “文理融合”イノベーションで世界と競う

神戸大学の实力と未来戦略を探る!!
 (構成内容)
 特別対談 山中伸弥×福田秀樹
 第1章 未来戦略 第2・3章 大学力I・II
 第4章 国際化 第5章 卒業生
 第6章 歴史物語

好評発売中! 定価: 本体1,800円(税別) ISBN978-4-340-40212-0
 [発行] 梧桐書院 [企画・編集] 能登印刷株式会社 [編集協力] 国立大学法人 神戸大学
 お申し込みは、「神戸大学とわたしから注文」と添えて、電話、FAX、メール、葉書等で梧桐書院(ごとうしょいん)まで。
 梧桐書院  電話 03-5825-3620 FAX03-5822-2773 メール 510@gotoshojin.com
 〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-6-2 神田ビル2F <http://www.gotoshojin.com>